

病院事業管理者
あいさつ

病院事業管理者
村島 隆太郎

Murashima Ryutaro



地域完結型医療

平成16年4月に新医師臨床研修制度が開始され、研修医による研修先の選択が自由になり、都心の病院での研修を希望する医師が増えまして、大学病院は医局への入局者が減少したため、人員不足に陥り、派遣医師を地域病院から引き揚げ、地域病院は深刻な医師不足となりました。医師不足にともなう現場の過重労働は、新たな医師離れを引き起こし、地域医療の崩壊は全国どの地域でもおこりうる状況です。

そんな中、佐久市は佐久医師会の協力のもとに、平成21年10月より当院で「佐久地域休日小児科急病セン

ター」、平成22年10月からは「佐久地域平日夜間急病診療センター」を開設しました。いずれも、一次救急医療という比較的軽症の救急患者さんで佐久医師会の開業医の先生方が交代で診療するセンターです。重症の患者さんが来られた場合は当院の医師がバックアップして診療にあたっております。

地域医療を守っていくためには、病院・診療所・住民の協力が 필요합니다。住民の皆様には普段は身近に「かかりつけ医(ホームドクター)」を持っていただき、急病で困ったときに、救急外来を利用していただきました

と思います。平成26年3月1日に佐久医療センターが開院する予定で、佐久医療センターは、紹介患者さんを中心とした高度医療・救命救急センターのある高次救急医療をおこなう地域医療支援病院を目指しています。当院から佐久総合病院への紹介患者数は平成22年330件、平成23年382件、佐久総合病院から当院への紹介患者数は平成22年124件、平成23年230件と年々増加しておりますが、佐久医療センター開院後は連携がますます進むことになりそうです。地域医療を崩壊させないためには地域完結型医療が不可欠です。住民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。